



校長 渡辺 義顕

1学期の終了を迎え、今、どのような思いをもっているでしょうか。先生は4月の始業式や入学式の中で、「一人一人が当事者意識をもって、主体的に学校づくりに関わってほしい」、「『どんな1年になるか』ではなく、『どんな1年にしようか』という、積極的な視点をもって学校生活を送ってほしい」ということなどをお話ししました。5月から6月にかけて、各学年の旅行的行事がありました。この準備一つとっても、皆さん一人一人が自分で考え、仲間と協力し、理想の行事、理想の学年を作ることができるよう、一生懸命に取り組んでいました。そんな姿を見て、先生は大変嬉しくなりました。また、日常の授業や部活動、生徒会活動などでも、日々充実した取組を行うことができたのではないかと思います。皆さんが理想とする青葉中学校に一步一步近づいています。

さて、明日から30日間の夏休みです。決められた時間割はなく、自由度の上がる1か月です。ほんのちょっとした努力を続けてほしいと思います。「1.01の法則」というのを聞いたことはあるでしょうか。ちょっとした努力を積み重ねると、やがて大きな力になる。という法則です。今日を「1.00」だとしたとき、少しだけ頑張って、明日を「1.01」にするために、「自分に必要なことはどんなことだろう」って考えてみてください。毎日「1.01」を続けたら、30日後、夏休みの終わりには「1.01の30乗」、つまり「1.35」の世界が自分の周りに広がっていることになります。反対に、少しだけさぼった一日を「0.99」とします。そんな毎日を過ごせば、30日後には「0.99の30乗」、「0.74」の世界を見てしまうことになります。夏休みの終わりに自分が見たいのは、どちらの世界でしょうか。1.4倍近くに成長して大きくなった自分でしょうか。4分の3に縮んでしまった自分でしょうか。

一日にほんのちょっとでいいんです。昨日の自分を超えましょう。「ほんの少し、頭や体を鍛える時間が増えた」でもいいですし、「昨日より笑顔になる回数が多くなった」というのも素敵です。理想の自分をイメージして具体的な目標を決めましょう。夏休みの1か月という時間は、自分を変えるには十分な時間です。

もう一つ大事な話をします。「命の大切さ」です。人は何かを失ったとき、初めてその価値や素晴らしさに気付きます。しかし命は一度失うと二度と戻ってきません。命とはこの世で一番大切な宝物です。皆さんにはこれからの長い人生を生きていく、たった一つの大切な命があります。毎年、テレビや新聞で、夏休み中に中学生が交通事故や水の事故、事件などで命を失うという、痛ましいニュースを耳にします。近年は熱中症も心配です。事故は心の隙について起こるものです。「これくらい大丈夫だろう」という甘い見通しが大惨事を引き起こします。どうか、これだけはお願いします。自分の命も他者の命も大切にしてください。

1か月後の8月25日、心身ともに一回り、いや1.4倍に成長した皆さんの元気な顔と挨拶に出会えることを楽しみにしています。

「チャレンジに 汗を流して 得る自信」

「1 学期頑張ったことと夏休み、2 学期頑張りたいこと」

1 年 2 組生徒

私が 1 学期頑張ったことは、校外学習です。青葉中学校に入学して初めての行事でした。一人一人が役割を持ち、その中でも私は班長をしました。事前学習から大変な場面もあり、自分達の班は立ててきた計画が一回やり直しになったり、当日、目的地にちゃんと着けるか不安でしかありませんでしたが、班のメンバーと協力し、無事みんなで楽しく校外学習を行うことができました。事後学習でもしっかりと今回の振り返りを行うことができました。校外学習を通して、班長としての責任感をしっかりと学ぶことができました。

夏休み、2 学期に頑張りたいことは、2 つあり、1 つ目はテスト勉強です。初めての定期テストが夏休み明けにあるので、自分のベストを出せるように頑張りたいと思ったからです。2 つ目は行事に向けての準備です。2 学期はたくさんの行事があります。特に学校祭では仲間と協力してみんなが楽しめるような企画を考えて頑張っていきたいです。

「1 学期の反省と 2 学期の抱負」

2 年 2 組生徒

僕は、1 学期に思い出となった事が 2 つあります。1 つ目は、宿泊学習です。なぜならクラスメイトとの宿泊を通し、研修先の植松電機と旭山動物園で様々なことを経験したり学べたからです。2 つ目は学年の雰囲気良かったことです。2 年生は、総務係が主催した「フルーツ実らせ大作戦」で意識が薄れていた、挨拶や切り替えが日に日にできていき、とても雰囲気のいい学年に成長したからです。

次に、2 学期・夏休みに頑張りたいことが二つあります。1 つ目は野球です。現在、僕はクラブチームで 2 年生キャプテンをしているので、秋に行われる新人戦に勝ち、全国大会に出場できるようにチームを引っ張っていきたいと思います。2 つ目は、定期テストです。夏休み明けの定期テストに向けて夏休み中もドラドラせず勉強に励み、夏休みを有意義に過ごしたいと思います。

「1 学期の活動と夏休みについて」

3 年 2 組 生徒

1 学期は、中体連や修学旅行など、3 年生にとって大切な行事がたくさんありました。まずは部活動についてです。私は野球部に所属しており、中体連に向けて毎日厳しい練習に取り組んできました。暑さや疲れでつらい日もありましたが、仲間と励まし合いながら最後までやりきることができました。迎えた最後の大会では、これまでで一番緊張しましたが、一球一球に集中し、自分たちらしいプレーができたと思います。結果以上に、全力を尽くせたことに達成感を感じました。部活動を通して、礼儀や仲間との絆、努力することの大切さを改めて学びました。

次に、修学旅行についてです。私たち 3 年生は、6 月に 2 泊 3 日で仙台へ行きました。事前学習では、仙台の歴史や名所を調べながら、班ごとに自主研修の計画を立てました。行き先やルート、移動手段などをみんなで話し合い、意見を出し合って決めていく中で、協力することの大切さを感じました。当日は、瑞鳳殿や青葉城跡、うみの杜水族館などを訪れ、実際に見て学ぶことで深い学びにつながりました。牛タンやずんだ餅などの名物も味わい、仙台の魅力を体いっぱいに感じることができました。2 泊 3 日という短い時間でしたが、友達との絆がより深まり、一生の思い出になりました。

そして、これからの夏休みについてです。夏休み明けには定期テストがあり、少し経てば学力テスト A も控えています。いよいよ受験生としての意識を高めて、勉強に本気で向き合う時期です。夏期講習や学校の課題、入試対策の問題などにしっかり取り組み、特に苦手な数学と理科を重点的に勉強していきたいと思います。また、生活リズムを崩さず、早寝早起きを心がけながら、毎日コツコツ学習を進めていきたいです。

1 学期を振り返ると、学びや成長が多くあったと感じています。夏休みは、その経験を次につなげるための大切な時間にしたいです。

<夏季休校日について>

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、夏休み期間中に「夏季休校日」の取組を実施しております。

これに伴い、本校では、8 月 12 日（火）～8 月 15 日（金）までを夏季休校日とし、年末年始の休日等と同様に、学校としての休校日とさせていただきますので、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、夏季休校日の取組につきましては、札幌市教育委員会 教職員課労務係（211-3855）にお問い合わせください。